

◆州の詳細情報（平成28年12月更新情報）

国名・州名	アメリカ合衆国(オハイオ州)
教育委員会・教育担当 行政機関等の名称 および連絡先	Ohio Department of Education 25 South Front Street Columbus, Ohio 43215-4183 電話877-644-6338 contact.center@education.ohio.gov http://education.ohio.gov/ オハイオ州内は地域により教育制度が異なるので、詳しい情報は居住予定地域の学校区教育委員会に問い合わせること。ワージントン学区、ダブリン学区では新入生・編入生の対応はウェルカムセンターと呼ばれる学区教育委員会内にある部署が一括して窓口となっている。
設置在外教育施設	コロンバス日本語補習校/シンシナティ日本語補習校(所在地はケンタッキー州)/オハイオ西部日本語学校/クリーブランド日本語補習校/トリド日本人補習校
●現地の教育の概要と特色	
学校制度	1(幼稚園)・6・2・4制
義務教育期間	6歳-18歳
学校年度	8月中旬-5月下旬(2016-17年)
学期制	2学期制
就学年齢基準日	その年の8月1日までに満5歳になる児童は、同年の8月下旬にキンダーガーデン(幼稚園)に入学可。
教育概要・特色	オハイオ州では、幼稚園から小学校3年生までの間に読む能力に遅れが出ないように、3年生終了時までには全員が一定の読書レベルに達するように全力を尽くしている。 オハイオ州の公立学校ではオープンエンrollment(越境入学)を許可する学区もある。各学区に問い合わせるオープンエンrollmentの有無、申し込み手順について問い合わせること。コミュニティスクールもしくはチャータースクールと呼ばれる宗教団体(教会など)、その他非営利団体により運営されている学校、一般的な私立学校、ホームスクーリング(自宅教育)もある。
●現地の学校段階別教育の概況	
1. 就学前教育	
	<プリスクール(保育園)> 保育園は義務教育外であるが、教育学区は3歳から5歳児の児童に、多様な要素の教育を行うように奨励している。学校区に隣接したプリスクール(学齢前の教育機関)が設置されている場合が多い。障害児の場合は学校付属保育園の授業料が免除されるが、通常は有料。学校に隣接しているプリスクールは3歳から入園でき、おむつが取れていることが条件となる。詳細は各学区のプリスクール担当に照会する。私立のプリスクールも多数あり、プリスクールにもよるが2歳から入学できるところもある。 <ディケア(託児所)> 託児所(ディケア)は生後3ヶ月頃から子どもを預けることができ、ファミリーディケア(州の認可を得て自宅の一部を託児所としているもの)や、託児所チェーン(Kindercareなど)や、教会付属の託児所等がある。時間単位、日単位、月単位で子供を預けることができ、独立したディケアセンターだけでなく、企業、学校、スポーツクラブなどの施設に付属していることもある。当国では自宅に12歳以下の子どもだけを残し外出することは禁止されている。

2. 義務教育	
	州法律では6歳から18歳が義務教育期間とされているが、例外として18歳までに高校を卒業した場合、14歳以上で合法的に就労する必要性のある場合、身体的・精神的な問題があり就学が不可能な場合、ホームスクールの場合等は除外される。オハイオ州より許可を受けた私立学校への就学も可能。また、Kindergarten（幼稚園年長）は選択制だが、入学した場合は修了しないと小学1年には進級できない。
義務教育の学校段階 種類および就学状況	幼稚園(小学校に付属):5歳、Kindergarten、入学は選択制 小学校:6歳-11歳、1年生-6年生、就学義務有り 中学校:12歳-13歳、7年生-8年生、就学義務有り 高校:14歳-17歳、9年生-12年生、就学義務有り 【就学状況】オハイオ州公立学校全体 K~12生徒数 1,795,339 人 (2016年調べ)
カリキュラム・教授言語	1年分の学習内容を全児童・生徒が習得できるように指導し、習得が遅れている生徒には学年末までに追いつくよう指導する。 ＜小学校＞国語、算数、理科、社会、体育、音楽、美術 ＜中学校＞必須科目:国語、数学、科学、社会 選択科目:美術、音楽(オーケストラ、バンド、合唱)、外国語、体育、科学技術、エンジニアリング、コンピュータ等 ＜高校＞オハイオ卒業試験を10年生から受け始め、卒業までに、英語の読み、書き、数学、科学、社会の5教科に合格することが高校卒業の条件である。卒業資格取得のためには卒業試験合格と高校4年間に20単位以上を取得することが必要である。9年生から高校卒業卒業までに必要な科目は英語、数学、科学(化学、生物学等)、外国語、社会(米国の歴史と政治、経済)、保健体育、選択科目(5単位)外国語、芸術、ビジネス、職業技術等。卒業試験は毎年10月および3月に実施している。また、大学受験の応募書類としてスコアの提出が必要とされるSATやACTも実施される(有料)。 【教授言語】英語。学校区によっては日本語を話す教員や助手がいることもある。
義務教育段階の学費	【授業料】公立学校は、授業料は無料である。科目によっては教材費等諸費用が発生することがある。放課後のクラブ活動や遠足などの特別行事に参加する場合には参加費や任意の寄付金が必要であることが多い。
スクール・インフォメーション	通学方法:スクールバス、自家用車 学校への訪問は、事前に予約を取り付け訪問する。 ワージントン学区(日本人の児童・生徒多数) 住所: 200 E. Wilson Bridge Rd., Worthington, OH 43085 電話:614-450-6112 www.worthington.k12.oh.us/ ダブリン市学区(日本人の児童・生徒多数) 住所: 7030 Coffman Road, Dublin, Ohio 43017 電話: 614-760-6000 ≪ http://www.dublinschools.net Welcome Centerで日本語に翻訳されている書類をダウンロードできる。≫ 学校の情報は上記のOhio Departement of Education http://education.ohio.gov/ で検索できる。
3. 義務教育以降	

学校段階・種類	【学校段階…学校の種類と修業年限】 ・職業訓練学校 (Vocational School) ・2年制大学 (Community Collegeなど) ・4年制大学 (College、Universityなど) ・大学院 (修士課程、博士課程)
進学状況	高校生の卒業率は約78% (オハイオ州全体)、ワージントン市では高校生の卒業率は約95%、約90%が大学に進学する。
●現地の学校への日本人の就学状況	
日本人の就学状況	ワージントン学区とダブリン学区には日本人の児童・生徒が多く通学している。また同生徒は現地校に通いながら、入学から数年の間、英語を母国語としない生徒はESLクラス(外国人のための英語クラス)と教科の学習を平行しながら進める。
外国人に対しての特別な学費負担	外国人に対しての特別な学費負担はなし。
外国人の就学義務	6歳から18歳の子どもは全ての保護者が教育を受けさせなければならないという法律があり、国籍にかかわらず就学義務が生じる。ホームスクーリング(家庭教育)も認められているが、州の規定に従って別途手続きが必要である。
外国人に対する言語特別指導	各学校にはESLのクラス(英語教室)が設置され専門の教師を配置している。ワージントン学区には日本人の教員、ダブリンには日本語を話せる助手(バイリンガルエイド)が配置されている。
入・編入学手続き	入学・編入等は学齢に応じて行われている。ワージントンやダブリンの学区ではオンラインでの申し込み手続きが可能である。まずはウェルカムセンターのリンクでオンライン登録を済ませると、学校からその旨連絡があり予約を取り付けた上で学校に必要な書類を提出し入学手続きを行う。その他の学区の場合は各学区の教育委員会もしくは学校に直接問い合わせること(書類が揃っていないと再度予約を取り直す必要が出てくるため、注意が必要。)。私立学校の場合は直接問い合わせ、手続きを行う。 ワージントン学区: http://www.worthington.k12.oh.us/ ダブリン学区: https://dashboard.dublinschools.net/ 必要書類例: 出生証明(もしくはパスポート)、親の運転免許証、パスポートもしくは州政府発行の身分証明書、住居を証明する書類3点(例:居住者の名前が入った賃貸契約書、住宅ローン契約書、給与明細、公共料金の請求書等)、親権を証明できる書類(離婚者の場合)、予防接種の記録。予防接種に関して、次の予防接種を受ける義務がある(詳細は各学校に直接問い合わせること。) ジフテリア・はしか・百日咳・ポリオ・B型肝炎・破傷風・水疱瘡・流行性耳下腺炎等の予防接種を受けた証明書を提出する。また、7年生や編入生は、はしか・流行性耳下腺炎の予防接種証明書を提出しなければならない。これら証明書は入学時から14日以内に提出し、ツベルクリン陰性の証明書あるいは胸のレントゲン写真は90日以内に提出しなければ入学を取り消される可能性がある。日本でBCG接種を受けた児童・生徒は、ツベルクリン反応で陽性となる場合が多いので注意が必要である。 日本から持参する書類: 予防接種証明: 所定の様式を上記WEBから入手し、日本の病院で記入してもらう。不足の接種項目については、当地の病院で接種し、任意の書式に記入してもらう。
現地の教育制度系統図	